



株式会社壺番屋

棚卸業務を自動化し、月180時間分の作業工数を削減！

基幹システムとkintoneを連携し、データ活用を推進。店舗運営の効率化を実現

株式会社壺番屋は、「カレーハウスCoCo壺番屋」を国内外に展開し、その他の業態にも取り組んでいる。同社では、直営店舗における棚卸データや工場での入出荷データの作成など、手作業による業務負担が課題となっていた。これを解決するため、「ASTERIA Warp」を導入し、全国約120店の直営店舗で棚卸データ作成を自動化。1店舗あたり月2時間かかっていた業務を30分に短縮。工場では入出荷データ作成の自動化により、休日のシフト調整が不要となった。さらに、kintoneと基幹システムのマスター連携や、基幹システム刷新時の既存システムとの連携にもWarpを活用。これらの取り組みにより、業務効率の向上と安定的な運用を実現した。今後も壺番屋は、煩雑でありながらもシステム化が難しい業務の効率化を目指し、Warpの活用を積極的に進めていく方針である。

導入背景

- 本部・店舗の業務効率化を目的に、基幹システムのデータを活用していたが、データの抽出・加工に時間を要していた。特に棚卸では、袋単位の発注データを人数単位に変換する作業を手入力で行っており、毎月約2時間を費やしていた
- 工場の生産計画に使用する入出荷データの作成には1回約15分かかっており、毎日実施するため、休日出勤用のシフトを組む必要があった
- 社内のデータ活用を促進するため、基幹システムのマスターデータをkintoneに抽出したいというニーズがあった

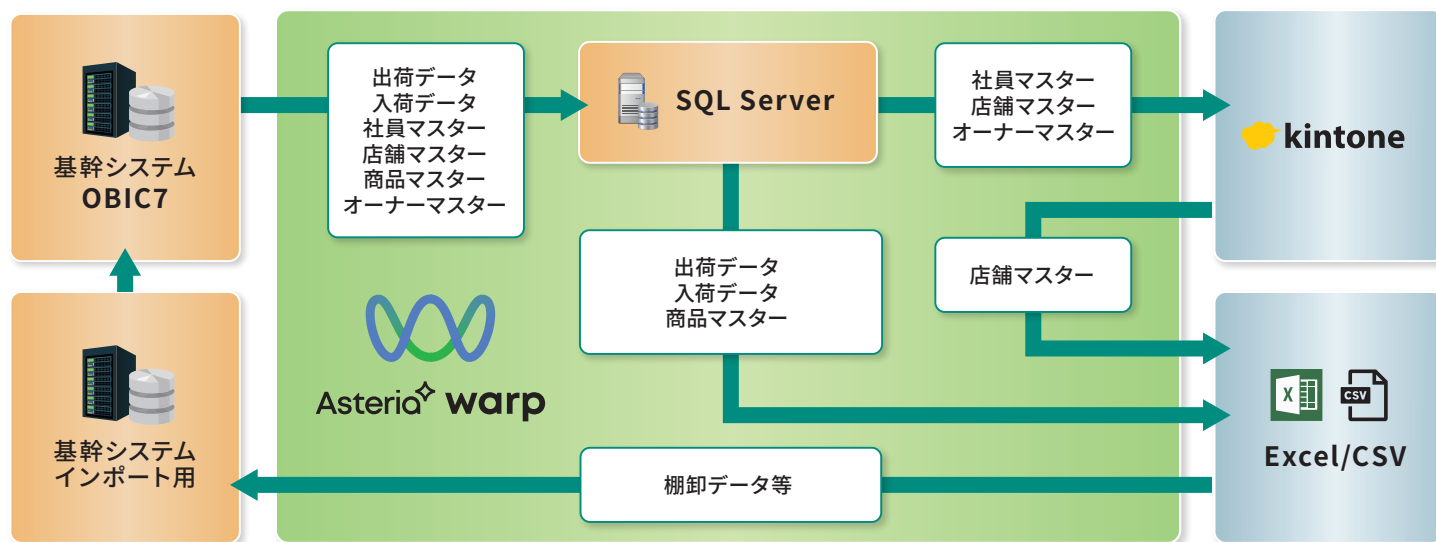
選定ポイント

- kintoneやExcelと連携可能なアダプターが用意されているため、データ連携や変換が容易
- 製品トライアルやセミナー等で導入までの流れや導入後の利用方法を具体的にイメージできた
- パートナーであるSCSK Minorisソリューションズのサポートにより、効率的な運用・保守が可能

効果

- 棚卸データ作成の作業を1店舗あたり月2時間から約30分に短縮。棚卸業務の時間を直営店全体で約180時間/月と大幅に削減
- 工場の入出荷データ作成を自動化したことにより休日シフトを組む必要がなくなり、働き方改革に貢献
- 基幹システムの刷新時には、既存の周辺システムとのデータ連携をWarpで構築。開発コストを抑えて柔軟な対応が可能に

システム概要



ユーザーのひと言



ASTERIA Warpを導入したのは、データ活用を目的としてkintoneを導入し、基幹システムの入れ替えも検討していた時期でした。そのため、柔軟性の高いデータ連携が求められていましたが、Warpを選定したことで、店舗運営など本来の業務に専念しつつ、業務負担を削減することができました。想定外のエラーも発生せず、安定稼働していることも大きなメリットです。現在は各種業務システムをSaaSへと移行しつつありますが、このような環境の変化に迅速に対応できることも、Warpの大きな強みだと感じています。

DX推進部 DX推進課 堤 翔 様

User Profile



CURRY HOUSE
CoCo壺番屋

所在地：愛知県一宮市三ツ井六丁目12番23号

会社概要：カレー専門店「カレーハウス CoCo壺番屋」の店舗運営及びフランチャイズ展開、その他の飲食事業など

業 種：飲食サービス業

U R L：https://www.ichibanya.co.jp/comp